

平成25年

セーフティメール 号外5

思いやり運転を…

8月12日

交通死亡事故多発！

本年50人突破！異常事態



滋賀県内では8月12日に本年1月からの累計交通事故死者数が50人となりました。昨年同期に比べ7人増加し、50人となったのは昨年より36日早くなっています。個々の事故を見ると、前方不注視や一時不停止など、基本的な交通ルール・マナーに対する規範意識の欠如に起因する重大事故が後を絶たず、県下の交通事故情勢は、非常に厳しい状況にあります。

若年者の死者が激増

- ・死者50人のうち、若年者（16歳～24歳）の死者が8人で、昨年に比べ7人増加している。
- ・若年死者8人のうち7人が自動車乗車中で、うち4人が同乗中である。
- ・正面衝突による事故が目立っている。



車両単独事故による死者が増加

- ・車両単独による死者が15人と昨年に比べ7人増加している。
- ・15人のうち自転車乗用中が4人で、自動二輪車によるものが3人である。



追突事故による死者が増加

- ・追突事故による死者が8人と昨年に比べ6人増加している。



自転車乗用中の死者が増加

- ・自転車乗車中の死者が8人で、昨年に比べ4人増加している。



相変わらず高齢死者が多い

- ・高齢（65歳以上）死者が18人と全体の36%を占めている。



事業所内に掲示するなど、多くの方々にご覧いただけるようご協力ください。

滋賀県警察本部交通企画課 高齢者交通安全推進室

TEL 077-522-1231（代表） Eメール x0022@police.pref.shiga.jp

資料

☆ 県内の交通事故による死者が、8月12日で50人(45件)になりました。この資料は、死者50人の交通事故を分析したものです。

【過去10年間の死者数50人到達日(計上日)】

※()内は年間死者数

| 年 | H15(108) | H16(104) | H17(118) | H18(102) | H19(93) | H20(79) | H21(65) | H22(78) | H23(85) | H24(79) |
|-----|----------|----------|----------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 到達日 | 8月12日 | 8月13日 | 5月29日 | 7月7日 | 8月17日 | 8月11日 | 10月30日 | 7月24日 | 8月7日 | 9月17日 |

最も早かった日
 最も遅かった日

1 状態・年齢層別

【状態別】

| | 死者数 | 構成率 | 前年同期比 |
|--------|-----|--------|-------|
| 歩行中 | 14 | 28.0% | -3 |
| 自転車乗用中 | 8 | 16.0% | 4 |
| 二輪車運転中 | 7 | 14.0% | 1 |
| 原付 | 3 | 6.0% | -1 |
| 二輪車同乗中 | | 0.0% | |
| 自動車運転中 | 14 | 28.0% | 1 |
| 自動車同乗中 | 7 | 14.0% | -3 |
| 計 | 50 | 100.0% | 0 |

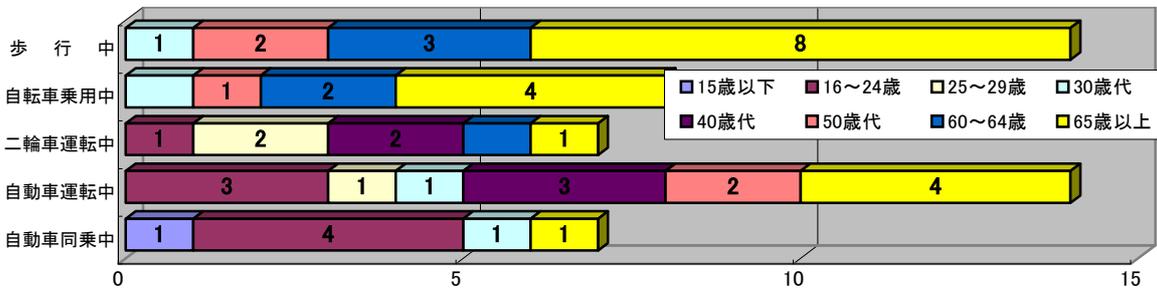
【年齢層別】

| | 死者数 | 構成率 | 前年同期比 |
|--------|-----|--------|-------|
| 15歳以下 | 1 | 2.0% | -1 |
| 16～24歳 | 8 | 16.0% | 7 |
| 25～29歳 | 3 | 6.0% | 0 |
| 30歳代 | 4 | 8.0% | 0 |
| 40歳代 | 5 | 10.0% | -1 |
| 50歳代 | 5 | 10.0% | -1 |
| 60～64歳 | 6 | 12.0% | 4 |
| 65歳以上 | 18 | 36.0% | -8 |
| 計 | 50 | 100.0% | 0 |

※ 高齢者(65歳以上)の死者が全死者の36.0%を占めている。

※ 若年者(16～24歳)の死者は8人で、前年比+7人と増加している。

※ 自動車乗車中(運転中、同乗中)の死者が全体の42.0%を占める。



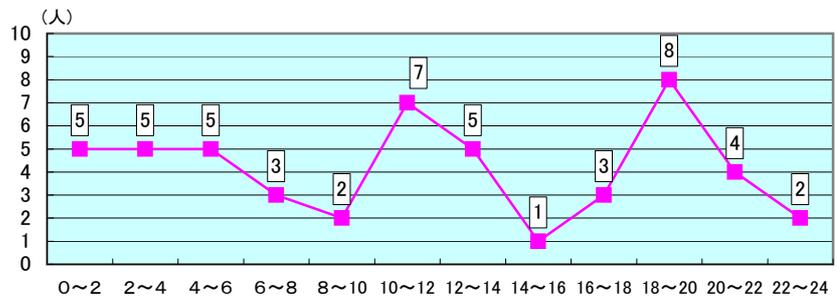
※ 65歳以上(高齢者)の死者18人のうち歩行中及び自転車乗用中の死者が12人と高齢死者全体の3分の2を占める。

※ 若年者の死者8人のうち自動車乗車中が7人を占める。(運転中3人、同乗中4人)

※ 歩行中の死者14人のうち60歳以上が78.6%を占める。

2 時間帯別

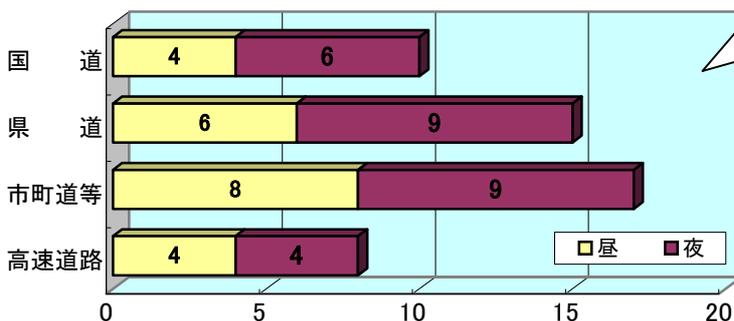
| | 死者数 | 構成率 | 前年同期比 |
|-------|-----|--------|-------|
| 0～2 | 5 | 10.0% | 3 |
| 2～4 | 5 | 10.0% | 0 |
| 4～6 | 5 | 10.0% | 3 |
| 6～8 | 3 | 6.0% | 1 |
| 8～10 | 2 | 4.0% | 1 |
| 10～12 | 7 | 14.0% | -1 |
| 12～14 | 5 | 10.0% | -1 |
| 14～16 | 1 | 2.0% | -2 |
| 16～18 | 3 | 6.0% | -1 |
| 18～20 | 8 | 16.0% | 1 |
| 20～22 | 4 | 8.0% | 1 |
| 22～24 | 2 | 4.0% | -5 |
| 計 | 50 | 100.0% | 0 |



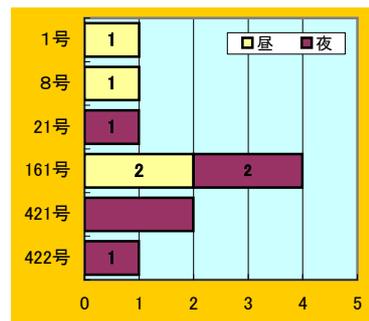
※ 18～20時の死者が8人と最も多く、次いで10～12時の7人となっている。

※ 昼夜間別(日の出、日没を基準)で区別すると、昼間の死者が22人、夜間の死者が28人となっている。

3 道路別



【国道の内訳】

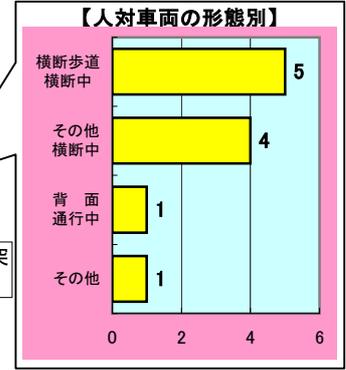
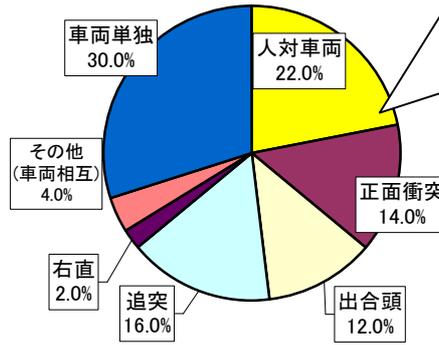


※ 全体的に夜間の死者が昼間の死者を上回る。

4 事故類型別

| | 死者数 | | 前年 同期比 |
|------|------|--------|-----------|
| | 構成率 | | |
| 人対車両 | 11 | 22.0% | -5 |
| 車両相互 | 正面衝突 | 7 | 14.0% |
| | 出合頭 | 6 | 12.0% |
| | 追突 | 8 | 16.0% |
| | 右直 | 1 | 2.0% |
| | その他 | 2 | 4.0% |
| 車両単独 | 15 | 30.0% | 7 |
| 列車 | | 0.0% | |
| 計 | 50 | 100.0% | 0 |

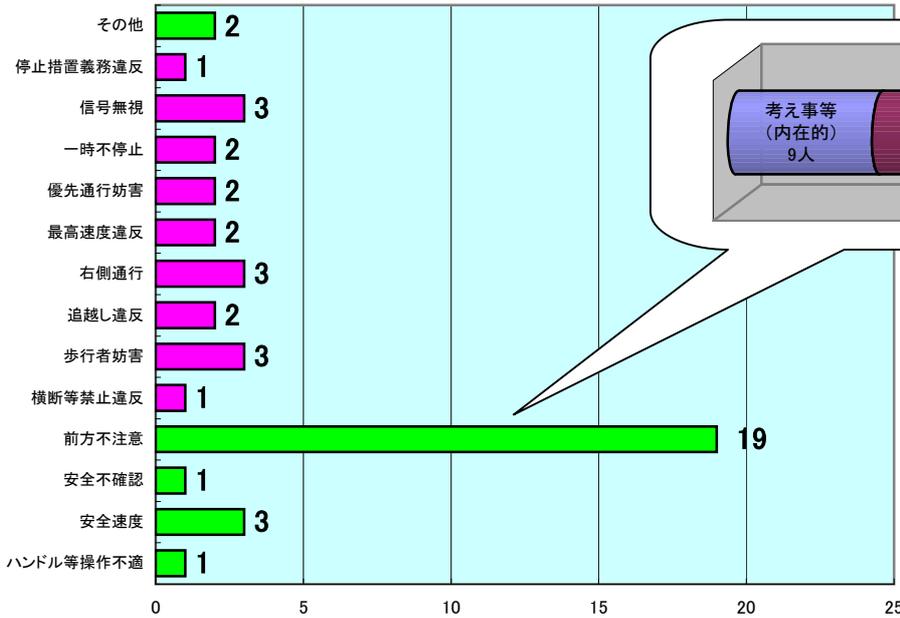
※ 車両単独による死者が全体の30.0%を占める。



※ 人対車両の形態別は上図のとおりであり、横断中が9人と最も多く、81.8%を占める。

5 事故の原因別(件数)

45



※ 事故原因の42.2%(19件)を「前方不注意」(安全運転義務違反)が占めており、動静不注視、安全不確認を含めると、安全運転義務違反が全体の42.6%を占める。

■ : 安全運転義務違反

6 自動車乗車中死者のシートベルト着用状況



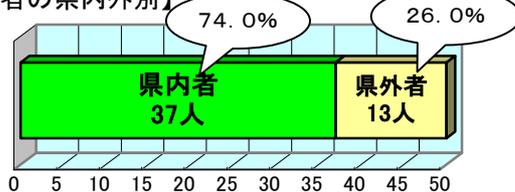
◇死者のシートベルト着用率は、**35.0%**

◇シートベルト非着用者13人のうち着用していれば5人の命が助かった可能性がある。

生存可能率:38.5%

7 死者及び第1当事者の県内外別

【死者の県内外別】



【第1当事者の県内外別】



8 発生市町別(高速道路での死者8人を除く。)

◇市(13市)

| 発生市 | 死者 | 発生市 | 死者 | 発生市 | 死者 | 発生市 | 死者 |
|-------|----|-----|----|-----|----|------|----|
| 大津市 | 8 | 草津市 | 5 | 野洲市 | 2 | 東近江市 | 6 |
| 彦根市 | 3 | 守山市 | 2 | 湖南市 | 1 | 米原市 | 2 |
| 長浜市 | 3 | 栗東市 | | 高島市 | 2 | 市計 | 39 |
| 近江八幡市 | 4 | 甲賀市 | 1 | | | | |

※ 大津市が8人で最も多く、次いで東近江市の6人、草津市の5人となっている。

◇町(6町)

| 発生町 | 死者 | 発生町 | 死者 |
|-----|----|-----|----|
| 日野町 | | 甲良町 | |
| 竜王町 | 2 | 多賀町 | |
| 愛荘町 | 1 | 町計 | 3 |
| 豊郷町 | | | |

※ 竜王町が2人で最も多い。